

平成30年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」について

小論文 【夜間主コース 推薦入試・社会人入試】		
出題意図		評価ポイント
<p>この問題は、自己および自己の文化を対象化、相対化することの意義とその方法についてどのように考えるかを問うものである。問題文を通して「日本の伝統」なるものに関する言説が実は根拠の曖昧なものであることを理解したうえで、いわゆる「客観的な態度」についてどのような議論を展開できるか。こうした社会科学資質を問うことを、この問題では意図している。</p>	問1	<ul style="list-style-type: none"> ・文中で述べられている「道徳教育推進プロジェクト」の目的それ自体の根拠が不確かなものであると筆者が指摘している点に言及していること。 ・「主観的で排他的だから」「客観性に欠けるから」「日本の伝統の正しさを証明しようとするものだから」など、主観—客観にのみ言及したものは減点。 <p>(解答例) 道徳教育推進プロジェクトは、総じて日本の「良き伝統」への回帰を目的としているが、日本の「良き伝統」という目的自体の根拠があいまいな自己賛美でしかないから。(77字)</p>
	問2	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分を客観的に見つめ直す」について、「さまざまな証拠やデータに基づいていること」と「自分の主観的なものの見方を相対化すること」に言及していること。 ・客観性を担保しようとする際に直面するかもしれない課題に言及していること。 <p>(例) ・ 多様なものの見方をしようとしても、それをするのはあくまでも自分自身であり、100%の客観性は望めない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の正しさを証明するためだけにデータを集めてしまう。等 ・「克服のための方策」をできる限り具体的に説明する試みがなされていること。 ・主張の理由ないし根拠が明確に述べられていること。 ・筆者の議論を踏まえたうえで自らの主張を展開していること。